

学校だより 3月号

市田っ子

令和3年2月25日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱいの学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

「得意」を見つけよう 「好き」を見つけよう

朝、体温の確認と手指消毒のため、子供たちが昇降口に1列に並びます。消毒までにちょっとした間があるので、1年生から3年生の列に四則算の質問をしています。ある日、先頭付近に並んでいる数人に「 $8+8=?$ 」と質問したら、ある2年生が「それ、 8×2 だよ」と答えました。私は「すごいね!」とほめました。何がすごいかというと、掛け算の意味を知り、生活場面で生かす、使えていることです。覚えておしまいということだけでなく、「これって算数で習ったことだ」と気づき、活用できることが真の学びです。また、こんなこともありました。1年生が3人一組になって、先生方に質問する学習に取り組んでいます。私のところにある3人組が来て「校長先生、好きな漢字教えてください」と質問しました。『笑』って漢字が好きだけどわかる?」と答え、付箋に書いて渡しました。するとある児童が、「書けないけど読めるよ」と言いました。これも「すごいね!」とほめました。書き方は4年生で習いますが、この児童は、今までの経験の中でこの漢字に出会い、文脈や必要性の中で読めるようになったと考えます。

多様な経験は学びを支える土台になり、広い興味と高い関心は学びを深めます。

子供から気付かされることはたくさんあります。校長室に寄ってくる児童がいるので「活脳パズル」を用意しています。何人もがチャレンジしていますが、なかなか完成しません。しかし、ある児童がついに完成しました。ほとんどの子は、部分を組み立てて最後の1ピースをはめる方法で完成を目指しますが、この児童は、最後の1ピースがはまるように組み立てます。この発想もすごいことです。学習に生かすならば、例えば、暗記暗唱で都道府県の位置や県庁所在地を覚えるのではなく、位置関係に注目させ、一県一県独立して覚えるのではなく上下左右の県の位置と関連させて覚える等の方法が意味を持ち、覚えやすいかもしれません。授業では知ることのできない、テストで測ることのできないすごい才能を将来に生かせるように伸ばしたいと思います。また、知恵の輪に挑戦している児童は、生活の様子からおとなしい子と思っていたのですが、かなり強引にはずそうとしているので、「ていねいにね〜」と声をかけつつ「こんな姿もあるんだ」と、新鮮な驚きを感じます。



未だ、子供たちから学ぶことがたくさんあります。一人一人異なる才能や個性を知るとわくわくします。子供たちと、一人一人の輝きを認め合い、友と学ぶ、共に学ぶ楽しい学校を創りたいと思います。



生活目標について

3月生活目標

一年間のまとめを
しっかりしよう。



3月は「1年間の成長」を振り返ります。

昨日の自分を今日、少し超えてみる・・・「相手の目を見てあいさつできるようになった自分」「チャイムと同時に着席することができた自分」「優しい言葉で友達に注意できた自分」・・・他の人と自分を比較して一喜一憂するよりも、子供達一人一人が、そうやって自分のよさを伸ばすことができたなら、すてきな学級、学年、学校になります。そのためには、自分自身を振り返る力が必要です。

- ①朝、友達や先生、地域の方にあいさつできない。
- ②あいさつをした方がいいのは わかっているんだけど・・・はずかしい? 勇気がでない?
- ③机の上に「毎朝あいさつをする」と書いて貼ってみよう。

自分が超えるべき相手は、「他人」ではなく常に「自分」です。昨日の自分よりも今日の自分。今日の自分よりも明日の自分というように、日々成長していく自分を感じられる時間を過ごしたいと思います。

月
日
曜
日
日



1年生



2年生



ひまわり・ひばり学級



6年生

後期ベストショット
市田っ子 161名
大きくなりました



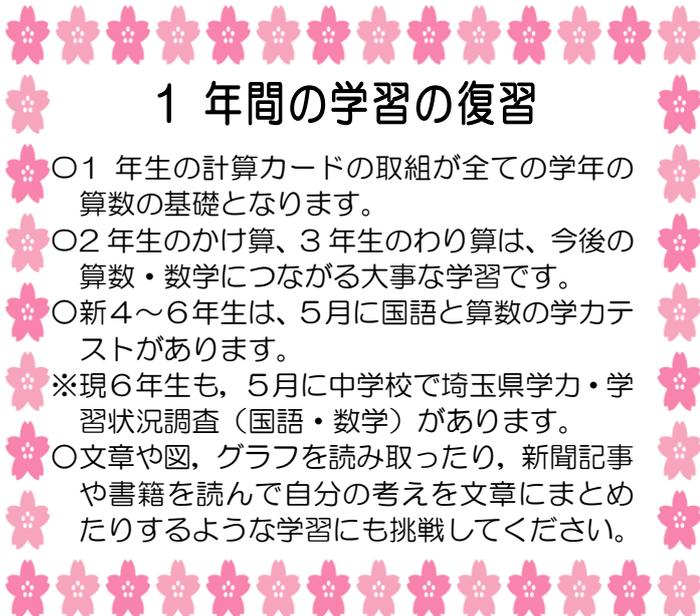
3年生



4年生



5年生



1年間の学習の復習

- 1年生の計算カードの取組が全ての学年の算数の基礎となります。
- 2年生のかけ算、3年生のわり算は、今後の算数・数学につながる大事な学習です。
- 新4～6年生は、5月に国語と算数の学力テストがあります。
- ※現6年生も、5月に中学校で埼玉県学力・学習状況調査(国語・数学)があります。
- 文章や図、グラフを読み取ったり、新聞記事や書籍を読んで自分の考えを文章にまとめたりするような学習にも挑戦してください。

卒業式について

【令和2年度卒業式】令和3年3月24日(水)

※6年生・教職員・6年生の保護者が出席します。

・1～5年生は臨時休業日となります。

8:30 保護者と登校
*児童：教室へ
*保護者：体育館へ

9:15 卒業式

11:00 門出送り

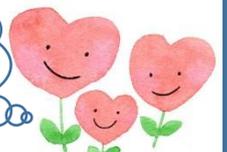


「ありがとう」の心

感謝の心が人を育て

感謝の心が自分を磨く

《スティーブ・ジョブズ》



3月は、この1年間の自分の成長を自他共に認め合うこと、その成長を支えてくれた人や物に感謝することを大事にしたいと考えています。

感謝の気持ちをもつことのよさは、様々あると思いますが、自分に関わる周りの力がどのように働いて成長することができたのか理解できていることもその一つにあるようです。

日常生活の中で私達は、たくさんの人にお世話になっています。この一年間を振り返り、家族をはじめ、自分に関わった様々な人、ものへの「ありがとう」の気持ちを伝えることは、心を豊かにすることにつながるのと思います。

「ありがとう」の言葉が飛び交う空間は『笑顔』にあふれ、温かな空気が流れます。「ありがとう」の言葉は、他人だけでなく、それを発した自分の体にも心地よい気分をもたらしてくれるといわれます。

また、「ありがとう」という言葉を日常的に使用することで、優しさや感謝の気持ちが育まれ、自分を取り巻く人との関係も良好になります。

「思いを言葉に」「言葉を行動に」。生活の中で、さりげなく感謝の言葉を口にし、行動できる市田っ子であってほしいと思います。

裏面につづく